



校舎8号館 前庭風景

# 校友会 云 報

第 48 号

静岡県三島市文教町 2-31-145  
日本大学国際関係学部  
校 友 会

# 平成二十九年度 常任幹事会・幹事会開催

十一日までとする

就職合同面接会実行委員会に關

## ○常任幹事会

平成二十九年六月三日(土)十六時三十分から、国際関係学部本校舎十五号館五階一五五四教室において開催された。横山雅人会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、幹事会提案事項について田中由雄幹事長及び塩谷典子常任幹事(会計担当)から各項目ごと詳細にわたる説明があり審議された。

◎幹事会 平成二十九年六月三日(土)十七時三十分から、常任幹事会に引き続いだ幹事会が開催された。関野浩二常任幹事の司会で進行され、横山雅人会長から正会員加入の促進と挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には久保田博明常任幹事、副議長

には日吉智幹事、書記には深澤ほの香幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

監査報告  
平成二十九年度事業計画（案）  
平成二十九年度予算（案）  
平成二十九年度新幹事に関する件

役員改選に関する件  
就職合同面接会実行委員に関する件  
富桜祭物産展実行委員に関する件  
ホームカミングデー実行委員に関する件

国際関係学部校友会関係物故者について  
その他

引き続き塩谷典子会計担当から平成二十一年度決算報告が報告され、藤本文彦会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。基金配分は奨学金準備金に二五〇,〇〇〇円、周年事業三基金準備金

に各一〇〇,〇〇〇円を平成二十九年度予算において積立となる旨の追加説明と三周年事業の開催年度を表記した。その中で三島学園開設七十五周年事業が四年後こ予定され、今年度から役員会で詳

事業が四年後には定まる。今年度が行員会で計  
細について検討したい旨田中由雄幹事長から報告が  
なされた。

中由雄幹事長から及び平成二十九年度収支予算（案）については塩谷典子会計担当から提案説明がなされ、審議の結果、二議案とも承認された。

平成二十九年度桜文会新役員について  
は目次欄  
係学部五名・桜文会七十名・商経科八名・桜栄会六  
名が新幹事として、幹事三名が常任幹事へ役職変更  
が事務局から推薦があり承認された。

役員改選に関する件については田中由雄幹事長から現役員の任期が平成三十一年三月三十一日付で満了となるが次期役員を審議していただいた旨の提案がなされ審議の結果現役員の再任となつた。任期は平成三十年四月一日から平成三十三年三月三

会報(第四十八号)発行について例年、校友会から会長・副会長・常任幹事の各一名及び顧問・参与から二名の方にお願いしたい。また校友会優秀賞授与者個人四名と各学生団体三名の委員長に原稿依頼をした旨の報告がなされた。

国際関係学部校友会関係物故者について、田中由雄幹事長から昨年の総会から本年六月末日までに二名の会員の方が、逝去された旨の報告がなされた。

その他としては田中由雄幹事長から、毎月第四日曜日午前九時から一時間程度ボランティア活動の一環として、本校舎西側歩道両側の清掃作業を実施するので、会員皆様の参加協力をお願いしたい旨の報告があつた。

次にホームカミングデー実行委員会に関する件については田中由雄幹事長から国際関係学部校友会に所屬する卒業生並びに他学部移行生、編入生の会員を母校三島を訪ねて頂く目的で毎年恒例の富桜祭物産展に参加し在学生と卒業生或いは卒業生同志の絆を深める目的で実行委員会を設置したい。委員会構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされ審議の結果、三案とも承認された。

も引き継ぎ開催する。計画であります  
実行委員会を設置したい。委員会構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされた。

富桜祭物産展実行委員会に関する件については田中由雄幹事長から  
平成二十九年十月二十八日・二十九日の両日開催される第六十七回富  
桜祭に校友会主催による地元特産物等販売の物産展を出店する目的で  
実行委員会を設置したい。委員会構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされた。

# 「正会員一〇〇キャンペーン」



国際関係学部校友会会长

横山雅人

校友の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は国際関係学部校友会の活動に対しご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

会長に就任して早二年が経過いたしました。七月に開催された総会も無事に終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

前回の会報でご報告いたしました取り組みについてその経過報告をさせていただきます。一つ目は国際関係学部校友会による清掃活動です。昨年の五月二十二日に第一回目を行い、雨天で二回中止になりましたが七月までに計十三回、延べ四十二名方が参加しました。活動の様子を国際関係学部校友会ホームページとSNS(フェイスブック)のグループに情報発信していますのでご覧ください。活動的目的達成にはまだまだですが、継続していくことで会を盛り上げていきたいと思いますのでぜひご参加ください。

二つ目はホームカミングデーの実施です。具体的には富桜祭(大学

交付されます。つまり正会員が増えると校友会活動が活性化することになります。そのため日本大学校友会では正会員の特典の充実に努めています。具体的には日本大学病院の選定療養費の免除、人間ドック料金の割引、腫瘍マーカー検査料金の免除やWEBサイトの「全国校友のお店&お宿ガイド」で校友が経営するお店等が紹介できたり、利用する方には割引サービスもあります。正会員費のお支払いがコンビニで振込でできるようになりました。ぜひ正会員の登録をお願いいたします。

また、学部校友会では今年、現役

E-Bサイトの「全國校友のお店&お宿ガイド」で校友が経営するお店設営です。昨年の物産展は多くのお客様と校友にご購入いただき大好評でした。また談話室も校友にお立ち寄りいただきました。日本大학교友会全体でこのホームカミングデーの実施に力を入れています。一人でも多くの校友に学校に足を運んでもらい、母校を盛り上げてほしいとの想いです。今年の富桜祭は十月二十八日(土)、二十九日(日)の二日間です。物産展は両日、談話室は二十八日のみ設営します。ぜひこの機会に母校に足をお運びください。新しい出逢いを新たな発展に繋げていくよい機会であると思います。

最後になりましたが、皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

学生三名(公認団体の代表者)を総会懇親会に招待しました。これは在学中に校友会の活動に触れることにより、卒業後も校友会と関わりやすくするためです。卒業すると大抵の方が母校から離れていくことがあります。卒業しても母校への帰属意識を持つてもらえるように

先日の高校生に人気のある大学アンケートで八位に位置する日本大学の一学部として、この勢いに乗りきることの無いよう、創意工夫を重ねて、益々の受験者確保に努めたいと思います。

よそ五〇〇〇人が学んでいます。

今年度入試では、国際関係学部の受験者が、昨年度比で二十九%増加し、平成二十三年度入試に少しだけ及ばない程度まで数を戻すことが出来ました。日本大学全体の受験者も十二万人を超えており、

結果

結果が出ることと確信しています。



国際関係学部学部長

渡邊 武一郎



国際関係学部学部長

横山 雅人

日本大学国際関係学部校友会

の皆様におかれましては、益々ご清

榮のことと心よりお喜び申し上げ

ます。

平素は日本大学国際関係学部、

短期大学部(三島校舎)にて学ぶ

学生のために、ご理解とご支援を

賜り深く感謝申し上げるととも

に、厚く御礼申し上げます。

三つ目は今回のタイトルでもあります正会員一〇〇キャンペーンです。昨年の学部校友会の正会員数は四十九名で、昨年は五十一名と微増でした。二〇二〇年度には正会員数を百名にしようという取組を継続中です。正会員の年会費一万円はその登録人数に応じて本部より決まった割合で補助費として

本年度は、国際関係学部に七二

の皆様におかれましては、益々ご清榮のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は日本大学国際関係学部、短期大学部(三島校舎)にて学ぶ学生のために、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げるとともに、厚く御礼申し上げます。

また、短期大学部には経済学の津山智行先生、観光マネージメントの大久保あかね先生をお迎えし、即戦力の学生の育成に尽力していただいております。

昨年度より始めた三島市内の小学校での学生による学習支援では、高い評価をいただき、今年度からは静岡県による「しづおか寺子屋」創出事業として、新たな形でスタートしました。また、昨年度に続いて今年度も文部科学省のトビタテ留学JAPANに一名採択されました。

同じキャンパスには付属三島高等学校、中学校がありますが、三

島高校は約二〇〇〇人の生徒を擁する静岡県内一番の大規模校です。昨年度アメリカで行われた全米チアダンス選手権において優勝し、全米一位の栄誉に輝いたチアダンス部は、今年度も全国大会にて優勝しました。また、お好み焼き甲子園で優勝した家庭科部では、地元の食品会社方の依頼により伊豆の国市名産のイチゴを使つたドレッシングを開発しました。

また、昨年度の卒業生の内六十%超が日本大学に進学することが出来ました。これまで五十%程度でしたが、教員一丸となつて進路指導を行つた結果の上昇だと思います。今後は特別進学クラスから国公立大学進学への進学者数に加えて、進学クラスから日本大学へ進学者が増加できるよう、これま

で以上に進学指導に力を入れていきたいと思います。

中学校は定員七十名一クラスの小さな学校ですが、丁寧な中高一貫の六年間教育を行つています。

京や神奈川県と違い私立中学校に進学させる家庭が少ない静岡県にあつて、生徒募集には些か苦労しておりますが、先月の学校説明会の来場者数は昨年度比二倍以上であり、また、八月の説明会には大学の先生方にもお手伝いいただき、小學生対象のサマースクールを実施しました。人口減少の厳しい状況ですが、大学、高校、中学校が一つ

のキャンパスにある三島キャンパスの優位性を大いに發揮して、中学校、高校、そして大学の存在感を高めたいと考えます。

二〇一九年に創立一三〇年を迎える日本大学の伝統のもと、日本一教育力のある大学の一翼を担う学部として、国際関係学部の更なる発展へ向けて、大学の教育・研究環境を充実させていくことを約束申し上げ。校友の皆様には、引き続き、国際関係学部、三島高校、中学校へのご支援、ご協力を切にお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

また、教育面では、平成二十三年に国際関係学科、国際文化学科、国際交流学科、国際ビジネス情報学科の四学科を国際総合政策学科、国際教養学科の二学科に改編し、平成二十五年には短期大学部

商経学科の名称をビジネス教養学科に変更いたしました。そして昨年度からは新しいカリキュラムがスタートし、学生は国際関係コース、国際ビジネスコース、国際文化コース、コミュニケーションコース、グローバルスタディコース、グローバル観光コースの六コースの中から一つを選択することになります。

校友会の皆様には今後とも一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。末筆になりましたが、国際関係学部校友会の益々のご発展と校友の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、校友会の皆様方には、私ども国際関係学部・短期大学部（三島校舎）に対する平素のご支援・ご協力に深く感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

私は、平成二十九年六月二十一

は、大学としては、三島駅北口校舎の竣工、本校舎（文教町）内の旧校舎（一号館、四号館、七号館）及び女子学生寮の解体があります。また、併設の三島高等学校、中学校としては、A棟、B棟、C棟の新校舎が竣工となり、二号館、三号館、五号館、六号館の旧校舎の解体及びグラウンドの改修工事（人工芝）が行われました。そして、平成二十八年七月には第二体育館及び八号館（食堂）の機能を集約した総合体育館（桜アリーナ）が竣工し、本年には、老朽化した第二体育館及び八号館の解体工事が予定されています。

また、教育面では、今後、学生数による学生生徒納付金の収入増加が見込めないことから、すでに経費の節約・削減プランを実行に移すとともに、いかに収入財源を確保していくかの検討を始めております。そして、日本一教育力のある大学の一学部として、更なる発展に向け努力してまいる所存でございます。

国際関係学部では、今後、学生定員に対応すると入学試験における入学定員に対する毎年の入学生数が制限されてしまいます。この人

数を一学部でも超過すると大学全體で国からの補助金の不交付など罰則が課せられます。近年では段階的にこの超過率が引き下げられ、平成三十年度入学試験においては、入学定員の一・一〇倍未満になることが決定しております。

国際関係学部では、今後、学生定員に対する毎年の入学生数が制限されてしまいます。この人

数を一学部でも超過

# 「箱根駅伝応援にかける」



国際関係学部校友会副会長  
桜文会会长

山田浩子

平成三年十一月の田大沼津桜門、  
会忘年会におきまして、箱根駅伝  
競走の名門たるわが日本大学に本  
部応援団が無いと知つた面々が、そ

しようと山口良児先輩が発案されました。

何も知らずに法政大学と早稲田大学の中間に割り込み、白い目で見られたと山口幹事長の後日談でしたが、応援団連絡協議会への出席で応援場所が決まるとか、小田原警察に行つて道路使用許可を得て来るなど、誰も知らないことを山口幹事長は三年続けました。

て同乗し、御殿場や富士の校友会もそれぞれ参加して毎年正月三日はお祭りさわぎになつてきました。

子供の能力や才能を引き出そう  
子供の能力や才能を引き出すには親は、その子供の本来の能力や才能を引き出す為のアドバイスと環境作りをしていけば子供は努力します。その子供の能力や才能は両親からの遺伝子により受け継がれます。

劣等感を持つ事は悪い事ではない  
そもそも人によって特徴や能力はさまざまです、例えば他人よりも背が低い、足が遅い、体が弱いという事はいくらでもあります。



國際關係學部校友會顧問

## 一 幼児期から少年期までの子育て

協賛費も出していただくななど活動  
が大きくなつて、やがて大学本部も  
参加するようになり応援活動は拡  
大いたしました。

が、ぜひ選手諸君の勇姿を見たいものです。皆様も大いに応援してください。

しかし、劣等感を持つても、それを力に変えて成長できる人もいます

問題を抱えた親子は一般的には問題行動を起こすなんらかの原因があつたと考えます。

共同体感覚とは、皆と一緒に生きているという感覚です。

えて「勝ちたい」「勝たなければ成らない」と子供に思わせると同時に、共同体感覚を持つ事を教えていく必要があります。

はじめ十五校だった大学も二十校になり、新規の大学も次々と出場するようになつて箱根駅伝競走は一大イベントになりました。

わが沼津桜門会が始めた箱根応援も今や全学規模となりまして、三島の学生は正月二日にも応援活動をしていると聞きました。

来年の出場はまだわかりませんが、ぜひ選手諸君の勇姿を見たいものです。皆様も大いに応援してください。

# 期までの子育て

相田信次

国際関係学部校友会顧問

われるかもしません。では、子供にも劣等感を持たせないようになるのが最善の子育てという事でしょうか。

実は違います。劣等感は、人間を成長させる重要な起爆剤となり得るからです。

劣等感を持つて、自己否定するようになつたら、それ以上は成長する事ができません。

しかし、劣等感を持つても、それを力に変えて成長できる人もいます

### 未来志向で子供を育てよう

問題を抱えた親子は一般的には問題行動を起こすなんらかの原因があつたと考えます。

子供の育つてきた環境が子供の心に影響を与えること自体は否定できません。しかし、同じような経験をした人が全員同じように問題行動を起こすとはかぎりません。それに、すでに起きてしまった事をさかのぼって変えようとすることは不可能です。それならば、未来に向かって行動を変えていった方がよいと言う基本的な考え方なのです。たとえば、子供が不登校を繰り返すとき、原因論で考えると「親の愛情が足りなかつた」などとなりますが、目的論で考えると、「親や先生の注意を引きたかった」という目的がぶつかるかもしれません。その場合はあえて子供の行動を無視するのが有効です。不登校をしても注目されなければ、子供はいい行いをすることで親や先生の注目を引こうとするかもしれません。いざこれ

しても、重要なのは子供の過去を見る事ではなく、未来を見る事です。もし子供の成長について悩んでいる事があつたとしても、未来に目を向けて何ができるかを親子で考えて欲しいと思うのです。

### 勝つだけでなく、優しくなる事を目指す

親として、世の中の厳しさを教えて「勝ちたい」「勝たなければ成らない」と子供に思わせると同時に、共同体感覚を持つ事を教えていく必要があります。

### 共同体感覚とは、皆と一緒に生きているという感覚です。

皆と一緒に生きているという感覚をもてば、自分だけ一方的に富を得るような人生が正しいとは思わないでしょし、貧しい人を可哀想だと思えたり、不公平な社会を何とかしなければと思えたりするはずです。

終わりに、うまく行かない子育ての連鎖は親が子供を否定的に育てる、その子が親になつた時も同じように成りがちだと言う事象と言います。連鎖を断ち切るにはとにかく、子供に幸せに成つてほしい、社会的成功してほしいと言う目的がしつかりあるなら、「自分の子育ては大丈夫だ」と自信を持つて欲しいのです。

# 「四号館の思い出」



国際関係学部校友会常任幹事

久保田 博明

校友会の皆様は、現在は取り壊され駐車場になっている場所に四号館があつた事をご存じでしょうか。四十年前に校門を抜けた右手に四階建ての校舎があり、私は大学生生活の殆どをこの四号館で過ごした一人です。

晴れた日は靈峰富士を仰ぎ、春にはスクールカラーであるピンク色の桜が咲き乱れ、新緑の季節には希望の森の木々が青々と茂り、学問を学ぶ環境としてはこの上ない素晴らしい学び舎でした。癒しを与えてくれた校庭の芝生も現在は十号館と十五号館が建ち、昔を知る者としては少し寂しい気がします。

当時、四号館の中央階段に向かって左側に学生課があり、私は商経科二年生の時に学友会の会計部長を任命されました。会計部長の仕事は多岐にわたり、学友会の会計と各部活動への部費の配布など様々な仕事がありました。また大

学祭の前には文化展示部門の予算も加わり、他の学生よりも早く登校し一日中キャンパス内を歩き回ったのも今となっては懐かしい良い思い出です。初めて経験する仕事が多く、多忙な日々を過ごす中で学生課の瀬川先生には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。余談ではありますが、学生課には美しい女性職員の方がおり、その方に会うのが楽しみの一つでもありました。

私が受講していた講義は四号館で行われるものが多く、一階には所属していた文化系の部室もあり、授業の合間に部室で仲間と談笑したりもしました。大学祭では校庭の芝生いっぱいに仲間とフォークダンスや白い恋人たち等のダンスを踊り、四号館の展示会場を一階から四階まで駆け回った事も昨日の事のように覚えています。東京の経済学部に編入してからも三島キャンパスの事が忘れられず後輩を訪ねてよく帰ってきたものでした。

大学卒業年の秋には私の人生のターニングポイントとも呼べる出来事がありました。父親が他界してしまい、家業を継ぐかどうかの決断を迫られました。当時の昭和四十九年はオイルショックの始まりであり、就職し営業の仕事をしていました私は家業を継ぐ勇気がありませんでした。一ヶ月間悩んだ私は就職活動でお世話をなったゼミの関先生や、雇って頂いた企業の方には大変申し訳なかったのですが、家業を継ぐことを決断しました。

継いでからは想像以上の困難に見舞われる事になりましたが、周りの方の支えと強い意志を持って努力した結果、現在も会社を存続することが出来ています。

私は良き先輩と後輩や先生方に恵まれ、卒業時には同窓会長賞も頂く事ができ、素晴らしいキャンパスライフを送ることができました。現在も校友会の常任幹事を務めさせて頂き、少しでも母校や在校生のお役に立てててるのであれば幸いです。

大学では技術だけではなく人間として成長する決意で入部しました。入部にあたり、私は目先の目標を多く立てるようになります。そうすれば、目標を見失うことなく着実にステップアップできると思つたからです。また、大学と今までの練習内容が大きく変わり、防具稽古という防具とグローブを着装し殴打技、蹴り技、関節技などを駆使してポイントを競う稽古があり、自分の筋力と体力の弱さが露呈したため、毎日ゴツゴツと筋力トレーニングやランニングをして、当たり負けしない体作りを目指しました。その結果、自衛隊や他大学生を相手にも積極的に試合ができました。

昨年の四月から日本拳法部の主将となつたのですが、右手首の怪我で半年以上、防具稽古ができない状態にあり、部をまとめる存在であるのにもかかわらずとても悔しく思いました。しかし、友人、ゼミの先生などが激励や病院、治療院を紹介してくれたり、リハビリ方法などを教えてくれたりと復帰に向けて後押ししてくれました。時間はかかったもののその分、気楽に治まれている環境で稽古ができるようになりました。

日本大学国際関係学部に入学して、早二年の月日が流れました。義務教育の期間を含めると、学業生活十四年目を迎え、社会に羽ばたいていく最終段階に入りました。大学生活にも慣れ、一日一日が

## 校友会優秀賞受賞者



国際教養学科四年

山本 大樹

私は幼い時から体を動かすことが好きで父の影響もあり、日本拳法という武道をしています。始めたばかりの時は、何も考えることもなくただ楽しんでいました。日本拳法と両立しながら、小学生から中学生ではサッカー部、高校では軽音楽部に所属し様々な経験していく中で武道から学んだことが多く活かされました。

大学では技術だけではなく人間として成長する決意で入部しました。入部にあたり、私は目先の目標を多く立てるようになります。そうすれば、目標を見失うことなく着実にステップアップできると思つたからです。また、大学と今までの練習内容が大きく変わり、防具稽古という防具とグローブを着装し殴打技、蹴り技、関節技などを駆使してポイントを競う稽古があり、自分の筋力と体力の弱さが露呈したため、毎日ゴツゴツと筋力トレーニングやランニングをして、当たり負けしない体作りを目指しました。

その結果、自衛隊や他大学生を相手にも積極的に試合ができました。日本大学国際関係学部に入学して、早二年の月日が流れました。義務教育の期間を含めると、学業生活十四年目を迎え、社会に羽ばたいていく最終段階に入りました。



国際総合政策学科三年

大澤 和也

日本大学国際関係学部に入学して、早二年の月日が流れました。義務教育の期間を含めると、学業生活十四年目を迎え、社会に羽ばたいていく最終段階に入りました。

い思いをしました。しかし、友人、ゼミの先生などが激励や病院、治療院を紹介してくれたり、リハビリ方法などを教えてくれたりと復帰に向けて後押ししてくれました。時間がかかったもののその分、気楽に治療に専念することができたこと、恵まれている環境で稽古ができることがあります。

常に早く過ぎていくのを日々実感しています。その様な日々の生活の中で心がけている事があります。それは、早く過ぎ去つていく中でどれだけ時間を有効的に活用出来るかということです。早く過ぎてしまうからこそ、時間を無駄にせず一日一日を大切に生活するように心がけています。

わう為に、日々努力していきたいと思いました。

そして最後にここまでゴルフを続けさせてきた上、大学にも進学させてくれた両親やサボートしてくれた人々に感謝しています。また来年は、大学生として最後の年になるので、悔いの無い生活を送り、学業と部活動に熱心に取り組んでいきます。



短期大学部専攻科食物栄養専攻二年

部に入り、ここまで一年の月日が流れました。この伝統ある部活で私は、レギュラーに入り、合宿や大学の試合、個人の試合で非常に忙しく、勉学と部活動との両立はとても難しく容易なものではありません。私がゴルフを始めたきっかけは、十歳の時によく遊んでいたテレビゲームの影響です。中学生からは、頻繁に試合に出場するようになり、同時にゴルフの魅力に惹かれ、ゴルフどんどんのめり込んでいきました。「もつと上手になつて良い成績を残

したい。」という気持ちが自分自身を高めてくれたのだと思います。高校に進学すると、二〇一三年の愛知県学生ゴルフ選手権、中部ジュニアゴルフ選手権ともに一位といふ好成績を納めることができました。しかし、同時に大学に入学してからも、一年目は、愛知県アマチュアゴルフ選手権で一位と優勝を経験する事が出来ませんでした。しかし、二年目の同大会では、念願の優勝を飾ることが出来ました。そして勢いそのままに二〇一六年秋に開催された文部科学大臣杯争奪全日本大学高等学校ゴルフ対抗戦にて、個人優勝を納めることができました。自身にどうても全国初のタイトルを獲得し、とても嬉しかったです。今まで取り組んできたことが、結果に繋がるのだという事を改めて実感しました。また、この成功体験は、今後の練習意欲を更に増幅させ、再び優勝という感覚を味

昨年、日本大学短期大学部食物栄養学科を卒業したのち専攻科に入学しました。私が専攻科へ入学しようと思ったのには理由があります。それは、栄養士として必要な知識と技術を一から学び直したかったからと、ゼミを続けたかつたからです。短大での学校生活は実験実習や講義でとても忙しく、課題に追われる毎日で、課題をこなすのに必死でした。専攻科に入学すると、時間の使い方に慣れ、実験実習のレポートに追われるなどの辛いことは少なくなった。そして、神戸先生の下、短大時代では、地域食材を使った学校給食の提案、料理コンテストへの応募に取り組み、専攻科では、スポーツ栄養について学ばさせて頂き、女子硬式野球部を対象として栄養教育や料理教室などを行っており、実践的な栄養指導の効果の検討を行っています。そして、私が今までのゼミ活動の中で二年続けて頑張つて

度と果物に匹敵する甘みのある三島甘藷と甘みもカロチンも豊富な三島人参のペーストを生地にたくさん練り込み、スポンジの中に入っているサツマイモの餡は砂糖を一切加えずに作った自然の甘さが感じられるケー キです。また、アイスの上に乗つているさつまいもチップスは揚げずに自然乾燥させて作つて、そのためヘルシーに、そして、とても薄くスライスされているため、パリッとした食感にこだわりました。ケー キの上に乗つている人参チップスは日本大学の校章であるサクラをイメージして型取り、お皿に描かれたNも、日本大学のロゴをイメージしています。この商品の企業との開発期間は二〇一五年十一月頃から二〇一六年三月でした。美食工房ビー・ショック様にて二〇一六年四月から販売されました。

きたことがあります。それは、地元の野菜を使って、ヘルシー・やさいスイーツの商品開発を行ったことです。これは、三島市役所の健康づくり課からゼミに依頼がきて、先生からやつてみないかとお話しを頂いたのがきっかけです。「みしまヘルシーやさいスイーツ」は、行政と企業・学校が協働で事業を開拓されました。このプロジェクトには、日本大学食生活栄養学科と学校法人鈴木学園の食の仕事を志す三島の学生と、地元の企業（プロの料理人・シェフ・パティシエ）がタッグを組み、新しいスイーツを開発しました。私はこのプロジェクトに参加して、健康を意識したやさいスイーツ一品目商品化することができました。

菜を使用しました。砂糖の一部をトレーに控えめにし、脂肪の低減による甘さを控えめにし、生クリームを使用しカロリーを下げました。ロールケーキの中には茎が入つていて、青臭いという意見があつたため、穂の部分を多く使い食感を出すようにしました。また、穂の部分をピューレ状にし生地の中に加え、優しい緑色のスピゲにしました。この商品の企画との開発期間は一〇一六年十月頃から二〇一七年一月でした。みしまプロザホテルレストランセゾン様にて二〇一七年二月から販売されました。

私は、この企画に一年続けて参加させて頂きました。最近はヘルシー志向の方が多いことから、たくさんの方に注目して頂きやりがいを感じました。商品開発を通じてお客様の期待に応えられる商品にしていく難しさを学びました。しかし、お客様が満足気に帰られる様

方々に激励のお言葉を頂き、とても感謝しております。

平成二十八年度は、一年目といふこともあり生活環境に適応することと、栄養士資格を取得するための勉学と陸上競技の両立に苦慮する部分もありました。

多くの方からの支援や指導をいただきながら何とか両立をすることができ、関東インカレでは女子一千五百〇〇m競歩で準優勝、全日本インカレでは九位と競歩種目において成績をおさめることができました。

さらには平成二十八年六月にベトナムホーチミンで開催されました、アジアジュニア陸上競技選手権大会に女子一〇〇〇〇m競歩の日本代表として出場の機会をいただき四位に入賞することができました。女子駅伝種目についても、関東大学女子駅伝・日光いろは坂駅伝に出場をし、他大学とも競い合って参りました。

短期大学部食物栄養学科  
西村早  
日本大学での学生生活も  
ので一年目を迎えました。一  
り校友会の皆様をはじめ、

短期大学部食物栄養学科二年

子を見てとても安心しました。やつてみて良かつたと思いました。商品開発などなかなか学校では体験できないことが経験できて良かったです。今回の体験したこと今後に繋がればと思います。

今回、このような立派な賞を頂くことができ、誇りに思います。ありがとうございました。

また、十一月に開催されました  
静岡県市町駅伝では三島市代表  
として出場し、約十年ぶりとなる  
三島市の九位入賞に貢献すること  
ができました。

十一月末に静岡県富士市で開催  
されました全日本大学女子選抜  
駅伝競走にも、静岡県選抜チーム  
として出場いたしました。

日本大学に入學し、競歩種目に関する身近に専門的な指導者がいない中、自分自身で競技を試行錯誤し取り組むことで経験面や競技面で大きく成長できたと思います。多くの大会に出場する中で他大学や大会関係者と出会い、様々な事を学ぶことができました。それと同時に陸上競技に取り組むにあたり多くの方々からのご支援・ご声援をいただいていることに心より感謝しております。

現在、食物栄養学科の二年生になり栄養士資格取得のため校外実

方々に激励のお言葉を頂き、とても感謝しております。

習を夏期休暇に控え、一年次より勉学に費やす時間も必要な状況です。授業や実験・実習等により思うように競技に取り組むことができない状況も増えておりますが、何とか競技においても昨年度以上の実績を収められるよう練習に取り組んで参ります。短期大学部での二年間の課程を終えた後も、引き続き競技に取り組む予定であります。

今後とも引き続きご声援のほど、よろしくお願ひします。

ら部長を引き継いでから半年がたち、先輩方の背中を追いかけながら、なお一層演劇部について、演劇について考える時間が増えたと思います。演劇は関わる人全員が、団結して作るものなので、一作品ごとの喜びも、苦労も全員で分かち合うため普通では味わえないものを体感出来るため僕はこの演劇部がとても居心地のよい場所だと思ってます。

現在文化会会長という役職を務めていますが、今までの演劇部は他団体との交流が全くなく、自分達の内輪だけという事が多かつたと聞きましたそこで、文化会会长という役で、他の文化系団体との交流を考えています。大学生活が残り少ない中で、お世話になつた四年生の富桜祭公演を成功させること、次の代に部長として、大切なものを残せるように引き継ぎしていくことが今後の目標です。何事も失敗を恐れず「やつてみよう」という挑戦を心がけてこれからの大學生生活を過ごして行きたいと思います。

各團體代表者  
「文化會」



国際総合政策学科三年

上原隼人

日本大学に入学して三年という月日がたち、就職活動も始まり、

少しずつ忙しくなっています。入学した時は、将来やりたいこと、大学の内にやりたい事がまだほんやりとしていて、高校とは違う生活習慣に慣れることと、アルバイトすることに必死でした。そして一年生が終わった春休みにとある漫画を読んで、新しい事をやってみようという衝動にかられ、おもむろにユーバーサルバスポートをひらいたのが演劇部に入ったキッカケです。そこからは、初心者の僕に先輩から演技について、裏方について、見てくるお客様について色々教えてもらい、自分の知識が、考え方が広がって行くのが分かりました。先代部長か

「体育会」



國際教養學科二年

松岡慶樹

日本大学国際関係学部に入学して三年が経ちました。入学したころは熊本から一人で来て、知り合いなどおらず、不安でしたが、沢山の友人ができ、支えられ、充実し

# 「富桜祭」



国際総合政策学科三年

鈴木彩音

日本大学国際関係学部に入学し、早くも三年という月日が経ちました。私は富桜祭実行委員会委員長として、富桜祭を成功させるため、実行委員とともに活動しております。六十七年目を迎える今年、実行委員の数は約一一〇名となりました。入部したての頃、その人数は、安心感でした。七十名を超える先輩方は多くのことを私に教えてくださり、実行委員会の仕事ばかりでなく、学校生活も充実したものにして頂きました。しかし先輩方が引退され昨年まで一部員だった自分が統括する立場に立つたとき、突然、目の前の世界が

文化祭です。毎年、富桜祭では、様々な国の料理が楽しめる模擬展、各国の文化の伝承を目的とする展示、民族衣装や世界クイズなど、国際色溢れる催しが校舎を覆います。そして今年度は、さらにバージョンアップした「国際」をテーマとした新企画が実施され、来場者の方々にはそれを体験して頂きます。富桜祭が、来場してくださった全ての方々にとつて、普段身近に感じられない国や地域に興味を持つていただける一助になれば、と思います。

自分はまだまだ委員長として半人前ですが、残り二ヶ月、来場者の方々は勿論のこと、各団体、先生方、実行委員、富桜祭に関わって頂いた全ての方に楽しんで頂ける富桜祭になるよう、尽力致します。

不器用な性格で組織を引っ張っていくというのは苦手な方だと勝手に思つていました。しかし、アメリカンフットボール部の主将であつたり、体育会会长などと大学生になり様々な経験をさせて頂き、組織の長に立つということは決して要領や、器用さだけではないということを学びました。

一年という短い任期の中、残り半年弱となりました。この素晴らしい伝統を引き継げることに誇りを持ち、残りの任期を誠心誠意取り組んでいきます。これからも体育会をよろしくお願ひ致します。

自分の発言や行動は実行委員全体の志気に繋がり、その志気は協力して頂く団体や企業の方々の実行委員に対する印象となることを知りました。「自分のこの発言は、委員長として正しいのか。どのように発言すれば一二〇名に伝わるのか」自問自答の日々の中で、何度も、自分の考えの甘さに嫌気がさしました。部員だった頃に見えていた景色が見え辛くなそんな中で、私の心の支えとなつたのは、信頼できる同期と後輩、そして引退された先輩の存在でした。同期は何も言わずいつも隣にいてくれ、後輩は元気に仕事のサポートをしてくれました。先輩は私から頼るまでは黙つて見ててくれ、頼つたときは優しく肩押してくれました。こんな素晴らしい方に囲まれ、私は本当に恵まれていると思います。

不器用な性格で組織を引っ張っていくというのは苦手な方だと勝手に思つていました。しかし、アメリカンフットボール部の主将であつたり、体育会会长などと大学生になり様々な経験をさせて頂き、組織の長に立つということは決して要領や、器用さだけではないということを学びました。

一年という短い任期の中、残り半年弱となりました。この素晴らしい伝統を引き継げることに誇りを持ち、残りの任期を誠心誠意取り組んでいきます。これからも体育会をよろしくお願ひ致します。

変わっていくのを感じました。自分の発言や行動は実行委員全体の志気に繋がり、その志気は協力して頂く団体や企業の方々の実行委員に対する印象となることを知りました。「自分のこの発言は、委員長として正しいのか。どのように発言すれば一二〇名に伝わるのか」自問自答の日々の中で、何度も、自分の考えの甘さに嫌気がさしました。部員だった頃に見えていた景色が見え辛くなそんな中で、私の心の支えとなつたのは、信頼できる同期と後輩、そして引退された先輩の存在でした。同期は何も言わずいつも隣にいてくれ、後輩は元気に仕事のサポートをしてくれました。先輩は私から頼るまでは黙つて見ててくれ、頼つたときは優しく肩押してくださいました。こんな素晴らしい方々に囲まれ、私は本当に恵まれていると思います。

# 平成28年度事業報告

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与  
 平成28年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。  
 ①校友会会長賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部1名に贈られ平成29年3月25日の卒業式当日、品川プリンスホテルアネックスタワー5階において授与式が行われた。  
 ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部2名及び短期大学部1団体に贈られ平成29年3月25日の卒業式当日、品川プリンスホテルアネックスタワー5階において授与式が行われた。  
 ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部2名及び短期大学部2名に贈られ平成29年4月3日開講式当日、桜アリーナにおいて授与式が行われた。
- ①校友会会長賞（副賞：奨励金）  
 秋原 一樹（国際総合政策学科4年）
- ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）  
 石井 裕也（国際総合政策学科4年） 阿久津 未来也（国際総合政策学科4年）
- ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）  
 葛城ゼミ（団体）  
 山本 大樹（国際教養学科3年） 大澤 和也（国際総合政策学科2年）  
 田畠 礼子（専攻科食物栄養1年） 西村 早織（短大食物栄養学科1年）
- 1 スマホ・携帯ストラップ  
 950個を平成28年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行  
 会報47号を平成28年9月1日付け22頁 19,000部を発行した。
- 1 各事業に対する補助  
 ①国際同窓会及び山形県支部に対する補助  
 ②大学の体育会に対する補助  
 ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助  
 ④就職合同面接会に対する補助
- 1 常任幹事会  
 平成28年6月4日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 幹事会  
 平成28年6月4日（土）17時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成28年7月16日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新  
 平成28年4月から公式WEBサイト（ホームページ）に年間7回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。
- 1 就職合同面接会  
 平成28年9月16日（金）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。（参加企業22社：参加学生35名：内定者23名）
- 1 箱根駅伝予選会応援  
 平成28年10月15日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援した。
- 1 富桜祭物産展参加  
 平成28年10月29日（土）・30日（日）両日に開催された第66回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して校友会主催による地元特産物等の販売をした。
- 1 ホームカミングデー開催  
 平成28年10月30日（日）10時から15時まで校舎13号館2階講師室にて開催した。当日は国際関係学部卒業生・在学生並びに法・文理・経済学部移行生16名の参加者となった。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成29年1月3日（日）復路スタート応援地点で応援した。また、平成29年1月2日（土）往路ゴール応援地点及び平成29年1月3日（日）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。
- 1 銀杏並木歩道清掃作業  
 本校舎西側（県道21号線）歩道両側の清掃作業を実施した。ボランティア活動の一環として毎月第4日曜日の午前9時から約1時間、銀杏並木南側歩道橋附近から北側幸原町交差点までの両側歩道植込み清掃を5月22日を第1回目として10回実施し、参加者は校友会メンバーに加えレディース桜門会並びに国際関係学部学生及び日大三島高校生徒等延べ126名が参加した。

## 平成28年度 収支決算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位:円)

支出の部				収入の部			
項目	予算額	決算額	差額	項目	予算額	決算額	差額
獎学費	390,000	320,000	70,000	会費収入	13,880,000	13,591,000	289,000
校友会報発行費	460,000	660,960	△ 200,960	雜収入	760,000	871,303	△ 111,303
各科同窓会等補助	380,000	100,000	280,000				
学生団体補助	800,000	409,840	390,160				
総会並びに懇親会費	1,070,000	1,242,978	△ 172,978				
箱根駅伝応援補助	970,000	818,888	151,112				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	520,000	410,400	109,600				
卒業記念品費	2,750,000	2,208,000	542,000				
会議会合費	300,000	326,393	△ 26,393				
通信運搬費	2,000,000	1,882,257	117,743				
ホームページ運営費	400,000	397,440	2,560				
事務費	1,630,000	1,473,256	156,744				
会員名簿作成費	200,000	98,226	101,774				
就職合同面接会運営費	270,000	339,326	△ 69,326				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	700,000	902,292	△ 202,292				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	300,000	300,000	0				
予備費	100,000	0	100,000				
計	13,810,000	12,460,256	1,349,744	計	14,640,000	14,462,303	177,697
基 金 繰 入 額	300,000	300,000	0	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金 (繰越金)	28,277,284	29,449,331	△ 1,172,047	前 年 度 繰 越 金	27,747,284	27,747,284	0
支 出 の 部 合 計	42,387,284	42,209,587	177,697	取 入 の 部 合 計	42,387,284	42,209,587	177,697

## 貸借対照表 (平成28年3月31日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	44,449,331	基 金	19,440,000
定 期 預 金	4,440,000	前 年 度 繰 越 金	19,140,000
		本 年 度 繰 入 額	300,000
		本 年 度 繰 出 額	0
		次 年 度 繰 越 金	29,449,331
		繰 越 金	29,449,331
合 計	48,889,331	合 計	48,889,331

## 基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	本 年 度 繰 出 額	合 计
基 金	19,140,000	300,000	0	19,440,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,380,000	100,000	0	6,480,000
計	19,140,000	300,000	0	19,440,000

平成28年度収支について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成29年4月28日

会計監査 宮川守印  
会計監査 藤本文彦印

## 平成 29 年度 事 業 計 画

- 1 国際関係学部校友会会长賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学金）  
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）を平成30年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。  
 ・校友会会长賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 5名  
 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 4名  
 ・校友会優秀賞並びに奨学金 短期大学部（専攻科含む） 2年卒業予定者 2名  
 国際関係学部 2・3年生在学生 4名  
 短期大学部（専攻科含む） 1年生在学生 2名
- 1 スマホ・携帯ストラップ  
 860個を平成29年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部（三島校舎）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行  
 会報48号（平成29年9月1日付）22頁 20,500部発行予定。
- 1 各事業に対する補助  
 ①各科同窓会及び支部に対する補助  
 ②大学体育会・文化会に対する補助  
 ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助  
 ④全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援に対する補助  
 ⑤就職合同面接会に対する補助
- 1 常任幹事会  
 平成29年6月3日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 幹事会  
 平成29年6月3日（土）17時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成29年7月15日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会  
 平成29年9月19日（火）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の平成29年度卒業予定者等を対象とした主に県内本学出身代表者企業参加による合同面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成29年10月14日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援  
 平成29年10月22日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点及び仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 富桜祭物産展参加  
 平成29年10月28日（土）29日（日）に開催される第67回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して校友会主催による地元特産物等の販売に参加する。
- 1 ホームカミングデー開催  
 平成29年10月28日（土）10時から15時まで校舎13号館2階講師室にて国際関係学部・短期大学部（三島）並びに法・文理・経済・商学部移行生を対象とした学園訪問懇談会を開催する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成30年1月3日（水）復路スタート応援地点で応援する。また、平成30年1月2日（火）往路ゴール応援地点及び平成30年1月3日（水）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 銀杏並木歩道清掃作業  
 ボランティア活動の一環として、本校舎西側（県道21号線）歩道両側の清掃作業を実施する。実施日は毎月第4日曜日午前9時から約1時間とする。

## 平成 29 年度 収 支 予 算 書 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 额	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 额
奨 学 費	390,000	390,000	0	会 費 収 入	13,700,000	13,880,000	△ 180,000
校 友 会 報 発 行 費	660,000	460,000	200,000	雜 収 入	750,000	760,000	△ 10,000
各 科 支 部 等 補 助	400,000	380,000	20,000				
学 生 団 体 補 助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,200,000	1,070,000	130,000				
箱根駅伝応援等補助	920,000	970,000	△ 50,000				
本 部 校 友 会 会 費	470,000	470,000	0				
入 学 記 念 品 費	400,000	520,000	△ 120,000				
卒 業 記 念 品 費	2,500,000	2,750,000	△ 250,000				
会 議 会 合 費	300,000	300,000	0				
通 信 運 搬 費	1,850,000	2,000,000	△ 150,000				
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	400,000	400,000	0				
事 務 費	1,500,000	1,630,000	△ 130,000				
会 員 名 簿 作 成 管 理 費	200,000	200,000	0				
就 職 合 同 面 接 会 運 営 費	300,000	270,000	30,000				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雜 費	800,000	700,000	100,000				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	300,000	300,000	0				
予 備 費	100,000	100,000	0				
計	13,590,000	13,810,000	△ 220,000	計	14,450,000	14,640,000	△ 190,000
基 金 繼 入 額	300,000	300,000	0	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繼 越 金 (繰越金)	30,009,331	28,277,284	1,732,047	前 年 度 繼 越 金	29,449,331	27,747,284	1,702,047
支 出 の 部 合 計	43,899,331	42,387,284	1,512,047	収 入 の 部 合 計	43,899,331	42,387,284	1,512,047

## 基 金 の 内 訳

(単位:円)

項 目	前 年 度 繼 越 額	本 年 度 繼 入 額	本 年 度 繼 出 額	合 计
基 金	19,440,000	300,000	0	19,740,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
計	19,440,000	300,000	0	19,740,000

## 平成 29 年度役員

役 職	氏 名 (在学年度)
教幹	養事 森 伸夫 (30・31)
幹幹	事 道見俊廣 (30・31)
幹幹	事 小野 武 (30・31)
幹幹	事 馬場妙子 (30・31)
幹幹	事 屋鋪公平 (30・31)
幹幹	事 根岸元宏 (31・32)
幹幹	事 渡部浩司 (31・32)
幹幹	事 大村日出雄 (32)
幹幹	事 甲田知由 (33)
幹幹	事 吉野洋一 (35)
幹幹	事 鈴木 肇 (35)
幹幹	事 御供政紀 (35・36)
幹幹	事 小澤文郎 (36)
幹幹	事 坂口正剛 (37)
幹幹	事 小石川宣照 (37)
幹幹	事 遠藤日出夫 (37)
幹幹	事 渡辺博夫 (37)
幹幹	事 両角 勇 (42)
幹幹	事 江川 洋 (42)
幹幹	事 林田孝二 (43)
幹幹	事 藤幡俊量 (46)
幹幹	事 高藤省三 (49)
幹幹	事 瀧本 博 (53)
桜文会	
幹幹	事 岩崎尚枝 (41・42)
幹幹	事 隅田やす代 (43・44)
幹幹	事 野村恭子 (44・45)
幹幹	事 園田正子 (45・46)
幹幹	事 小永井京子 (46・47)
幹幹	事 内田恵子 (51・52)
幹幹	事 高橋真理子 (51・52)
幹幹	事 関野啓子 (51・52)
幹幹	事 中野利庸子 (52・53)
幹幹	事 榎本睦美 (52・53)
幹幹	事 杉浦美恵子 (53・54)
幹幹	事 石井千枝子 (55・56)
幹幹	事 高橋令子 (56・57)
幹幹	事 西島節子 (56・57)
幹幹	事 正田仁美 (57・58)
幹幹	事 沼上博美 (48・49)
幹幹	事 小林美佐枝 (49・50)
幹幹	事 田辺尚美 (50・51)
幹幹	事 前川和代 (50・51)
幹幹	事 松村啓子 (51・52)
幹幹	事 諏訪部昭子 (51・52)
幹幹	事 斎藤千鶴子 (51・52)
幹幹	事 和田律子 (51・52)
幹幹	事 興野智子 (51・52)
幹幹	事 佐野有美 (51・52)
幹幹	事 大塚久子 (51・52)
幹幹	事 瀬川晶子 (51・52)
幹幹	事 吉川しのぶ (51・52)
幹幹	事 山崎潤子 (53・54)
幹幹	事 田中真由美 (53・54)
幹幹	事 滝口真理子 (54・55)

役 職	氏 名 (在学年度)
会長	横山雅人 (56~59)
副会長	宮下公雄 (54~57)
副会長	濱田義之 (45)
副会長	山田浩子 (41・42)
副会長	江本博勝 (46・47)
副会長	野中美香 (55・56)
副会長	弓場重明 (44・45)
幹事長	田中由雄 (42・43)
常任幹事 (庶務担当)	関野幹雄 (48・49)
常任幹事 (庶務担当)	関野浩二 (57~60)
常任幹事 (会計担当)	山瀬 匠 (08・09)
常任幹事 (会計担当)	塩谷典子 (56~59)
常任幹事	市川紀子 (35・36)
常任幹事	伊奈敏文 (39・40)
常任幹事	染谷徳昭 (42・43)
常任幹事	山口良児 (43・44)
常任幹事	平岩美知子 (44・45)
常任幹事	久保田博明 (45・46)
常任幹事	遠藤晶子 (44・45)
常任幹事	早川清文 (45・46)
常任幹事	西野和衛 (46・47)
常任幹事	瀬川 宏 (47・48)
常任幹事	神戸絹代 (47・48)
常任幹事	多田清吾 (47・48)
常任幹事	鈴木允 (48)
常任幹事	露木ひろみ (52・53)
常任幹事	斎藤聰 (54~57)
常任幹事	松原裕二 (54~57)
常任幹事	西田昭子 (57・58)
常任幹事	高野誠 (57~60)
常任幹事	勝又義博 (57~60)
常任幹事	平澤佳代子 (58・59)
常任幹事	野田正人 (62・63)
常任幹事	久保田裕子 (01・02)
常任幹事	藤澤博隆 (03・04)
常任幹事	渡邊孝哉 (09・10)
常任幹事	深澤ほの香 (23~26)
常任幹事	日吉智 (25・26)
会計監査	藤本文彦 (52・53)
会計監査	木村貴美和 (55~58)

任期(H27.4.1 ~H30.3.31)

役 職	氏 名 (在学年度)
顧問	柴田正 (41・42)
顧問	小早川隆義 (42・43)
顧問	相田信次 (44・45)
参与	渡辺洋子 (35・36)
参与	岩崎一雄 (43・44)

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	土佐谷泰子(61・62)	幹	事	橋本春佳(07・08)	幹	事	足立俊子(54・55)
幹	事	対木智宏(62・63)	幹	事	小林亜希(07・08)	幹	事	原賀桂津世(54・55)
幹	事	久保和之(63・01)	幹	事	長川あかね(07・08)	幹	事	武田裕美(55・56)
幹	事	田伏正和(01・02)	幹	事	野村奈央(07・08)	幹	事	勝亦幾代(56・57)
幹	事	名雪しげみ(01・02)	幹	事	野村美之(07・08)	幹	事	名取厚子(56・57)
幹	事	菅江 稔(02・03)	幹	事	山崎幸恵(08・09)	幹	事	北川早苗(56・57)
幹	事	明石知恵美(02・03)	幹	事	林 隆子(09・10)	幹	事	山崎睦子(57・58)
幹	事	川原浩貴(03・04)	幹	事	成島敦子(09・10)	幹	事	田中裕子(57・58)
幹	事	小野和彦(03・04)	幹	事	工藤美咲(10・11)	幹	事	竹村峰加(57・58)
幹	事	坂口聖剛(03・04)	商経・一部			幹	事	高野直美(58・59)
幹	事	今川高宏(04・05)	幹	事	萩野谷 肇(41・42)	幹	事	秋山恵子(58・59)
幹	事	町野智彦(05・06)	幹	事	上田定義(41・42)	幹	事	佐野裕子(58・59)
幹	事	池田昌史(08・09)	幹	事	加藤久貴(46・47)	幹	事	阿部昭子(59・60)
幹	事	成田伸行(08・09)	幹	事	秋山稔明(46・47)	幹	事	鍵山美希(59・60)
桜栄会			幹	事	野田 栄(47・48)	幹	事	神田留美子(60・61)
幹	事	山口玲子(34・35)	幹	事	辻本真由美(51・52)	幹	事	佐藤明美(61・62)
幹	事	阿部麻子(35・36)	幹	事	大島裕二(52・53)	幹	事	後藤澄映(61・62)
幹	事	木崎有里子(35・36)	幹	事	吉川浩司(54・55)	幹	事	松繩和恵(62・63)
幹	事	渡辺かよ子(35・36)	幹	事	後藤幸江(58・59)	幹	事	内田美典(62・63)
幹	事	板垣和代(36・37)	幹	事	斎藤みどり(59・60)	幹	事	中川みどり(62・63)
幹	事	佐野茂子(36・37)	幹	事	長澤裕子(59・60)	幹	事	神戸一葉(62・63)
幹	事	小泉陽子(36・37)	幹	事	斎藤千春(01・02)	幹	事	白石 忍(63・01)
幹	事	中村満里子(37・38)	幹	事	南 まり子(03・04)	幹	事	田邊久美子(63・01)
幹	事	川口裕子(37・38)	幹	事	川口恭子(04・05)	幹	事	伊藤芳枝(63・01)
幹	事	米山日出子(37・38)	幹	事	白川美保(05・06)	幹	事	渡邊陽子(01・02)
幹	事	金井美智子(38・39)	幹	事	小柴慶子(06・07)	幹	事	山本いづみ(01・02)
幹	事	小坂照子(38・39)	商経・二部			幹	事	犬塚久恵(01・02)
幹	事	塩谷まさよ(38・39)	幹	事	杉山敏明(34・35)	幹	事	鈴木みのり(01・02)
幹	事	井原康恵(38・39)	幹	事	渡辺 勝(38・39)	幹	事	関口葉子(01・02)
幹	事	望月千登世(38・39)	幹	事	久保田 勝(38・39)	幹	事	石井三香子(02・03)
幹	事	浅田義志子(39・40)	幹	事	佐野勝己(39・40)	幹	事	藤森久美子(02・03)
幹	事	秋山幸子(39・40)	幹	事	土屋忠得(40・41)	幹	事	中西幸子(02・03)
幹	事	関口 瑞(39・40)	幹	事	鈴木正八(44・45)	幹	事	杉本宏子(02・03)
幹	事	福尾つや子(39・40)	幹	事	小澤義明(46・47)	幹	事	稻葉美香(02・03)
幹	事	神部文子(39・40)	幹	事	土屋大蔵(46・47)	幹	事	高鹿真弓(03・04)
幹	事	伊達伸子(40・41)	幹	事	宮川 守(47・48)	幹	事	森川容子(03・04)
幹	事	高橋美鶴(40・41)	幹	事	西島典雄(47・48)	幹	事	秋山由紀(03・04)
幹	事	石黒榮美子(41・42)	幹	事	小川正治(49・50)	幹	事	渡辺理恵子(03・04)
幹	事	鳥羽山資子(41・42)	幹	事	近藤芳治(49・50)	幹	事	北園実由貴(03・04)
幹	事	秋山悦子(41・42)	幹	事	津田正克(50・51)	幹	事	阿部衣子(03・04)
幹	事	渡辺あき子(41・42)	幹	事	甲斐幸博(51・52)	幹	事	川口文子(03・04)
幹	事	嶋 美也子(41・42)	幹	事	甲斐忠則(51・52)	幹	事	長田瑞紀(04・05)
幹	事	伊藝 瞳(41・42)	幹	事	後藤善夫(52・53)	幹	事	梅田敏江(04・05)
幹	事	駿藤春代(42・43)	幹	事	加藤喜章(53・54)	幹	事	望月美代子(04・05)
幹	事	石原泰代(42・43)	幹	事	鈴木理平(54・55)	幹	事	植松郁子(05・06)
幹	事	影山貴美枝(43・44)	幹	事	内野祥司(55・56)	幹	事	古川みどり(05・06)
幹	事	土屋時子(43・44)	幹	事	守野敏也(55・56)	幹	事	天野法子(05・06)
幹	事	柴田敬子(44・45)	幹	事	山田 良(55・56)	幹	事	古屋美帆(06・07)
幹	事	川村千代子(45・46)	幹	事	鈴木明彦(57・58)	幹	事	長田弘子(06・07)
幹	事	辻 緑(45・46)	幹	事	杉山勝行(57・58)	幹	事	波多野律子(06・07)
幹	事	小林秀実(45・46)	幹	事	黒田文量(59・60)	幹	事	齋藤文江(06・07)
幹	事	杉本清美(46・47)	幹	事	金城三十二(59・60)	幹	事	佐野真弓(06・07)
幹	事	佐藤奈津美(47・48)	幹	事	武井直子(60・61)	幹	事	稻田友美(07・08)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	渡邊明子(09・10)
幹	事	植野敦子(09・10)
幹	事	佐野文美(10・11)
幹	事	鞍本鮎美(11・12)
幹	事	尾間裕仁(11・12)
幹	事	笠原奈津子(11・12)
幹	事	宮田朋子(11・12)
幹	事	鈴木典子(12・13)
幹	事	小林由佳(12・13)
幹	事	赤川智海(12・13)
幹	事	小出祐子(12・13)
幹	事	峯松園美(13・14)
幹	事	山田美穂(13・14)
幹	事	遠藤友海(13・14)
幹	事	清水磨希子(13・14)
幹	事	高橋由実(13・14)
幹	事	米永寿子(13・14)
幹	事	岩田直子(14・15)
幹	事	大沼秋桜子(14・15)
幹	事	高橋美絵子(14・15)
幹	事	石渡麻史(14・15)
幹	事	服部直美(14・15)
幹	事	秋山絵操(14・15)
幹	事	山田真理子(14・15)
幹	事	小野順子(14・15)
幹	事	栗田裕子(15・16)
幹	事	河原崎朱里(15・16)
幹	事	平澤怜子(15・16)
幹	事	田村美沙子(15・16)
幹	事	植松明菜(15・16)
幹	事	荻島宏予(15・16)
幹	事	渡邊裕未(15・16)
幹	事	荒井沙織(15・16)
幹	事	宇野浩吏(16・17)
幹	事	星野成幸(16・17)
幹	事	渡邊尚(16・17)
幹	事	松島佳奈子(16・17)
幹	事	中西麻純(16・17)
幹	事	増島清美(16・17)
幹	事	萩原美香(16・17)
幹	事	平川綾乃(16・17)
幹	事	綾部久美子(16・17)
幹	事	桑山理沙(16・17)
幹	事	飯田泰恵(17・18)
幹	事	石川裕里佳(17・18)
幹	事	中山朋美(17・18)
幹	事	田中沙季(17・18)
幹	事	堀田裕貴(17・18)
幹	事	隅田優美(17・18)
幹	事	岩代美貴(18・19)
幹	事	加藤未奈(18・19)
幹	事	澤谷友香里(18・19)
幹	事	豊田彩香(18・19)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	大須賀美穂(63・01)
幹	事	櫻田智栄美(63・01)
幹	事	三宅理砂子(63・01)
幹	事	野上 香(63・01)
幹	事	日吉美由紀(63・01)
幹	事	勝俣千穂(01・02)
幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	市川智香(02・03)
幹	事	岡本ゆう子(02・03)
幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	望月ゆりか(03・04)
幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	西村直子(03・04)
幹	事	宮本久美子(03・04)
幹	事	渡邊真理子(03・04)
幹	事	小澤知子(04・05)
幹	事	出口幸子(04・05)
幹	事	井上雅代(04・05)
幹	事	西岡かおり(04・05)
幹	事	田村美保(04・05)
幹	事	岩下志保(05・06)
幹	事	関屋園子(05・06)
幹	事	渡邊千史(05・06)
幹	事	川口由美子(05・06)
幹	事	池谷尚美(05・06)
幹	事	中村理恵子(05・06)
幹	事	遠藤理愛(05・06)
幹	事	神尾かほり(06・07)
幹	事	田中里都美(06・07)
幹	事	鈴木寛子(06・07)
幹	事	山本静香(06・07)
幹	事	佐藤純子(06・07)
幹	事	三須洋美(06・07)
幹	事	齊藤真由美(07・08)
幹	事	和泉久美(07・08)
幹	事	小野澤美和(07・08)
幹	事	小林世以子(07・08)
幹	事	中林香子(07・08)
幹	事	水谷鯉恵(07・08)
幹	事	横田 忍(07・08)
幹	事	中橋智子(08・09)
幹	事	神戸亜里沙(08・09)
幹	事	兼房はな(08・09)
幹	事	石崎由香(08・09)
幹	事	佐藤美幸(09・10)
幹	事	大水由佳(09・10)
幹	事	田村理絵(09・10)
幹	事	内田 恵(09・10)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	神田みつ子(47・48)
幹	事	勝又昌代(48・49)
幹	事	原 康子(48・49)
幹	事	碓井久美子(49・50)
幹	事	岩田智加子(50・51)
幹	事	大沼めぐみ(50・51)
幹	事	峰田富美子(51・52)
幹	事	山口智佳子(51・52)
幹	事	堤 令子(52・53)
幹	事	白井道代(52・53)
幹	事	石橋治代(52・53)
幹	事	岩崎美浪(52・53)
幹	事	竹内厚子(52・53)
幹	事	宮澤正江(52・53)
幹	事	遠藤豊美(52・53)
幹	事	長谷川規子(52・53)
幹	事	松川順子(52・53)
幹	事	松崎光子(52・53)
幹	事	中澤小雪(53・54)
幹	事	斎藤裕子(53・54)
幹	事	長田智子(53・54)
幹	事	押見恵美子(53・54)
幹	事	船石圭子(53・54)
幹	事	四條里美(53・54)
幹	事	鷺巣かほる(53・54)
幹	事	藤原和美(54・55)
幹	事	原田純子(54・55)
幹	事	池谷美津子(54・55)
幹	事	中澤由利子(54・55)
幹	事	佐伯絵里子(54・55)
幹	事	伊藤若菜(54・55)
幹	事	吉田麻理子(55・56)
幹	事	藤田建江(56・57)
幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	石谷美智子(57・58)
幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	鈴木佳乃(59・60)
幹	事	中條朝子(59・60)
幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	清水佳乃(59・60)
幹	事	稻葉桂子(60・61)
幹	事	藤井由紀子(60・61)
幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	小島みちよ(61・62)
幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	山下朋子(61・62)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	平野 雅之 (56~59)
幹	事	福田 勝弘 (56~59)
幹	事	宇田 隆康 (56~59)
幹	事	山本 宏治 (57~60)
幹	事	三浦 仁 (57~60)
幹	事	横田 正 (57~60)
幹	事	森田 克彦 (58~61)
幹	事	佐上 菊二 (58~61)
幹	事	小塚 敏久 (58~61)
幹	事	横溝 泰藏 (59~62)
幹	事	池尻 敏広 (59~62)
幹	事	土田 洋二 (60~63)
幹	事	桑原 健治 (60~63)
幹	事	木俣 かおり (61~01)
幹	事	増原 伸一 (61~01)
幹	事	犬塚 重暁 (63~03)
幹	事	野口 厚 (63~03)
幹	事	藤田 隆 (63~03)
幹	事	廣岡 達郎 (01~04)
幹	事	斎藤 実 (01~04)
幹	事	佐藤 淳悦 (01~04)
幹	事	高橋 博樹 (01~04)
幹	事	長谷川 哲夫 (01~04)
幹	事	村上 東洋男 (01~04)
幹	事	須田 啓一郎 (01~04)
幹	事	椿 昌寛 (01~04)
幹	事	南 敦子 (02~05)
幹	事	門脇 正明 (02~05)
幹	事	藤原 誠吾 (02~05)
幹	事	前田 智也 (02~05)
幹	事	坂井 利彰 (02~05)
幹	事	小田 純子 (02~05)
幹	事	田辺 裕司 (02~05)
幹	事	田松 正樹 (02~05)
幹	事	西岡 昌仁 (02~05)
幹	事	鎌田 文一 (02~05)
幹	事	沼尻 正則 (03~06)
幹	事	若松 はるか (03~06)
幹	事	三宅 大介 (03~06)
幹	事	清水 建 (03~06)
幹	事	小塚 達郎 (03~06)
幹	事	紅林 美智子 (03~07)
幹	事	佐藤 治夫 (04~07)
幹	事	千野 琢磨 (04~07)
幹	事	渡辺 将之 (04~07)
幹	事	杉山 文予 (05~08)
幹	事	江島 照美 (05~08)
幹	事	室伏 寛美 (05~08)
幹	事	田尻 美三 (05~08)
幹	事	青木 徹 (05~08)
幹	事	大嶽 龍一 (05~08)
幹	事	室伏 太郎 (05~08)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	田中 菜絵 (24~25)
幹	事	石井 さくら (24~25)
幹	事	伊東 亜珠沙 (24~25)
幹	事	杉山 亜梨沙 (24~25)
幹	事	成田 安実里 (24~25)
幹	事	山田 瑞歩 (24~25)
幹	事	山本 芽生 (24~25)
幹	事	藤原 麗 (24~25)
幹	事	満間 恵子 (24~25)
幹	事	鈴木 美優 (25~26)
幹	事	天野 真由香 (25~26)
幹	事	恩田 剛弥 (25~26)
幹	事	齊藤 花衣 (25~26)
幹	事	林田 千尋 (25~26)
幹	事	野村 歩 (25~26)
幹	事	駒形 亜海 (26~27)
幹	事	中嶋 千里 (26~27)
幹	事	大島 由樹 (26~27)
幹	事	加藤 早織 (26~27)
幹	事	高橋 美帆 (26~27)
幹	事	田畠 礼子 (26~27)
幹	事	宮澤 理紗 (26~27)
幹	事	吉田 まゆ子 (26~27)
幹	事	長橋 侑希 (26~27)
幹	事	橋本 華奈 (27~28)
幹	事	鈴木 麻友 (27~28)
幹	事	大箸 理沙 (27~28)
幹	事	鈴木 瑠菜 (27~28)
幹	事	福島 真由 (27~28)
科	事	宮下 正俊 (39~40)
幹	幹	菅沼 弘 (39~40)
幹	幹	向笠 肇 (40~41)
幹	幹	土屋 貞明 (42~43)
幹	幹	渡辺 清 (42~43)
幹	幹	赤地 哲也 (42~43)
幹	幹	吉田 力 (44~45)
幹	幹	長倉 良幸 (44~45)
幹	幹	三枝 和彦 (46~47)
幹	幹	勝間田 太住 (47~48)
幹	幹	天野 寿一 (48~49)
幹	幹	上原 豊和 (52~53)
幹	幹	西家 勝彦 (52~53)
幹	幹	久保田 武生 (52~53)
幹	幹	埜村 光伸 (53~54)
幹	幹	勝呂 千明 (53~54)
幹	幹	鈴木 啓太郎 (54~55)
際	事	川口 智彦 (54~57)
幹	幹	柳川 浩昭 (54~57)
幹	幹	高野 真一 (54~57)
幹	幹	諫訪部 健 (55~58)
幹	幹	小松 徳弘 (56~59)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	野口 明日香 (18~19)
幹	事	藤井 里奈 (18~19)
幹	事	松井 志保美 (18~19)
幹	事	萬両 美幸 (18~19)
幹	事	福島 健嗣 (18~19)
幹	事	村松 海 (18~19)
幹	事	廣江 亜佐美 (18~19)
幹	事	富井 映里 (19~20)
幹	事	木下 涼平 (19~20)
幹	事	中安 美咲 (19~20)
幹	事	藤井 ゆりか (19~20)
幹	事	山本 靖子 (19~20)
幹	事	三宅 ひとみ (19~20)
幹	事	青木 裕也 (20~21)
幹	事	小林 可南子 (20~21)
幹	事	石政 未希 (20~21)
幹	事	岩井 友紀 (20~21)
幹	事	澤木 心美 (20~21)
幹	事	杉本 愛季 (20~21)
幹	事	西原 萌恵 (20~21)
幹	事	横山 千恵 (20~21)
幹	事	市川 佳夏子 (20~21)
幹	事	青木 萌子 (21~22)
幹	事	長田 知郁 (21~22)
幹	事	清水 遥 (21~22)
幹	事	時吉 結巳 (21~22)
幹	事	湯山 菜名 (21~22)
幹	事	矢田 さき (21~22)
幹	事	清水 祥子 (21~22)
幹	事	小見山 伊代 (21~22)
幹	事	山下 あゆ (21~22)
幹	事	小嶋 絵梨花 (21~22)
幹	事	桑原 里沙 (22~23)
幹	事	小原 美妃子 (22~23)
幹	事	塩谷 彰子 (22~23)
幹	事	朝比奈 涼子 (22~23)
幹	事	篠原 莉那 (22~23)
幹	事	奈良 彩夏 (22~23)
幹	事	原賀 あかり (22~23)
幹	事	渡邊 愛菜 (22~23)
幹	事	川久 有紀 (22~23)
幹	事	鶴澤 まゆか (22~23)
幹	事	江打 真衣 (23~24)
幹	事	澤田 明日香 (23~24)
幹	事	諸星 楓 (23~24)
幹	事	朝日 健太 (23~24)
幹	事	大木 史恩 (23~24)
幹	事	鈴木 沙羅 (23~24)
幹	事	田島 理瑛 (23~24)
幹	事	深谷 正城 (23~24)
幹	事	堀 佑美佳 (23~24)
幹	事	守野 恭介 (23~24)
幹	事	須藤 静香 (24~25)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	木佐木枝里(18~21)	幹	事	大野達男(12~15)	幹	事	明石浩一(05~09)
幹	事	金井尊史(18~21)	幹	事	太田孝一(13~16)	幹	事	沖倉保宏(06~09)
幹	事	久保田真未(19~22)	幹	事	山川利雄(13~16)	幹	事	今川慶(06~09)
幹	事	御所園智仁(19~22)	幹	事	浅野雄介(13~16)	幹	事	田中智康(06~09)
幹	事	阿部裕樹(19~22)	幹	事	本多加奈(13~16)	幹	事	久芳仁(06~09)
幹	事	佐久間仁輝(20~23)	幹	事	山本彩子(13~16)	幹	事	植松信二(06~09)
幹	事	橋本康弘(20~23)	幹	事	相見大輔(13~16)	幹	事	小林寿成(07~10)
幹	事	張替祐介(20~23)	幹	事	板橋紗綾香(13~16)	幹	事	齊藤美根子(07~10)
幹	事	山下昌志(20~23)	幹	事	武田泰弘(13~16)	幹	事	纏瀬健太郎(07~10)
幹	事	本田怜央(20~23)	幹	事	浅石友里子(13~16)	幹	事	佐竹篤(07~10)
幹	事	小林訓史(21~24)	幹	事	渡邊頌子(13~16)	幹	事	川野梨恵(07~10)
幹	事	中林広希(21~24)	幹	事	河野奈津子(14~17)	幹	事	正木創一(08~11)
幹	事	白滝成美(21~24)	幹	事	脇田千草(14~17)	幹	事	井上善史(08~11)
幹	事	茂木宏之(21~24)	幹	事	綱島昇(14~17)	幹	事	登ヶ谷祐人(08~11)
幹	事	岡林将大(22~25)	幹	事	塚田泰章(14~17)	幹	事	金子浩二(08~11)
幹	事	望月彩乃(22~25)	幹	事	杉町カウエ(14~17)	幹	事	内田修(08~11)
幹	事	松山直弘(22~25)	幹	事	小川淳(14~17)	幹	事	成田哲浩(09~12)
幹	事	大門由佳(22~25)	幹	事	内村彩(14~17)	幹	事	井上美由紀(09~12)
幹	事	石川雄大(22~25)	幹	事	渡邊賢治(14~17)	幹	事	井上明子(09~12)
幹	事	牧野竜太郎(23~26)	幹	事	井出知里(15~18)	幹	事	徳田瑞希(09~12)
幹	事	福岡泰祐(23~26)	幹	事	井所博志(15~18)	幹	事	齊藤真規(10~13)
幹	事	堀川未来夢(23~26)	幹	事	小倉宏紀(15~18)	幹	事	長岡福也(10~13)
幹	事	中尾光太郎(24~27)	幹	事	宮腰治憲(15~18)	幹	事	筒井靖子(10~13)
幹	事	本間淳博(24~27)	幹	事	田野口皓太(15~18)	幹	事	杉山祥啓(10~13)
幹	事	麻生雅義(24~27)	幹	事	菅家奈都美(15~18)	幹	事	大津留真紀(10~13)
幹	事	永田真希(24~27)	幹	事	藁谷和正(17~18)	幹	事	大友仁美(10~13)
幹	事	佐野佑太(24~27)	幹	事	岩井小百合(16~19)	幹	事	佐野京子(12~13)
幹	事	山本豪(24~27)	幹	事	鈴木弘明(16~19)	幹	事	鈴木亜希子(12~13)
幹	事	高橋義典(24~27)	幹	事	黒子佳恵(16~19)	幹	事	園部真子(12~13)
幹	事	柿沼友哉(24~27)	幹	事	大森未奈子(16~19)	幹	事	長谷川郁子(11~14)
幹	事	前原唯之介(24~27)	幹	事	笠倉諒(16~19)	幹	事	土元夏葉(11~14)
幹	事	小野勇太(25~28)	幹	事	中山優貴(17~20)	幹	事	竹腰真裕子(11~14)
幹	事	秋間一樹(25~28)	幹	事	浅井啓悟(17~20)	幹	事	後藤暢宏(11~14)
幹	事	松原大輔(25~28)	幹	事	芹沢崇(17~20)	幹	事	竹村直(11~14)
幹	事	石川裕也(25~28)	幹	事	関谷紀志(17~20)	幹	事	木下真由美(11~14)
幹	事	阿久津未来也(25~28)	幹	事	長谷川孝洋(17~20)	幹	事	若月朋子(11~14)
			幹	事	勝呂孝(17~20)	幹	事	斎藤久美絵(11~14)
			幹	事	中島由人(17~20)	幹	事	川村友江(11~14)
			幹	事	笠原菜央子(17~20)	幹	事	猪狩博織(11~14)
			幹	事	古山結子(17~20)	幹	事	山下政幸(11~14)
			幹	事	永野映吏可(18~21)	幹	事	鈴木さや夏(13~14)
			幹	事	勝又智子(18~21)	幹	事	川下知恵(12~15)
			幹	事	西岡基(18~21)	幹	事	鹿内隼人(12~15)
			幹	事	緒方義明(18~21)	幹	事	斎藤慎亮(12~15)
			幹	事	後藤奈津子(18~21)	幹	事	山本克幸(12~15)
			幹	事	祭興斌(18~21)	幹	事	拓植由美子(12~15)
			幹	事	片柳健太(18~21)	幹	事	豊永有美子(12~15)
			幹	事	松原慎(18~21)	幹	事	原順子(12~15)
						幹	事	小澤有礼(12~15)

## 国際関係学部 校友会総会開催



### 国際関係学部校友会

平成二十九年七月十五日(土)十六時からみしまプラザホテルにおいて総会が開催された。弓場重明副会長の司会で昨年の総会から本年六月末日までに逝去された会員に対し黙祷をささげた。続いて進一〇〇キヤンペーンを実施し本部特典も年々増加しており登録者の増員を行なわれた。横山雅人会長から始めた本校校舎(県道二十二号線)銀杏並木歩道清掃を今年度も継続して実施したい。また、卒業生が母校を訪ね在学時代を振り返つて頂く為に富桜祭開催期間中に校友会主催による物産展及びホームカミングデー等を開催するなどの説明と挨拶の後、議事に移り、議長団・書記が選出された。議長には渡辺博夫幹事、副議長には日吉智幹事、書記には押見恵美子幹事が選出され、次の議事が報告及び審議され、

平成二十九年度事業計画(案)監査報告  
平成二十九年度予算(案)  
平成二十九年度新幹事等選出  
就職合同面接会実行委員に関する件  
富桜祭物産展実行委員に関する件  
ホームカミングデー実行委員に関する件  
就職合同面接会実行委員に関する件  
本部校友会関係行事等について  
各科同窓会活動報告  
その他

田中由雄幹事長から、平成二十九年度事業報告がなされ、続いて平成二十九年度決算報告が塩谷典子常任幹事(会計担当)から報告、藤本文彦会計監査から監査報告があり、それが承認人された。基金配分については奨学金準備金に二五〇、〇〇〇円、周年事業三基金準備金に各〇一〇〇、〇〇〇円を平成二十九年度予算において積立となる旨の追加説明と三周年事業の開催年度を表記した。その中で三島学園開設七十五周年事業が四年後に予定され今年度から役員会で詳細について検討したい旨田中由雄幹事長から報告がなされた。

平成二十九年度事業計画(案)に関する件は田中由雄幹事長から、平成二十九年度予算(案)に関する件は塩谷典子常任幹事(会計担当)から内容説明がなされた。審議の結果、原案どおり承認され、二案について案の削除となつた。

続いて平成二十九年度新幹事として構成メンバーは別紙委員会名簿としたい旨の提案がなされ新規会員の結果三案とも了承された。

平成二十八年度国際関係学部校友会関係物故者については田中由雄幹事長から昨年の総会から申出がありその後任として木村貴美和常任幹事を会計監査として推薦したい旨

が事務局から提案があり承認された。役員改選に関する件については田中由雄幹事長から現役員の任期が平成三十年三月三十一日付で満了となるが次期役員選出を審議していただきたいた旨の提案がなされ審議の結果現役員の再任となつた。任期は平成三十年四月一日から平成三十三年三月三十日までとする。

就職合同面接会実行委員に関する件については田中由雄幹事長から平成三十年三月卒業予定者を対象とした合同面接会を平成二十九年九月十九日に開催する。昨年度は平成二十九年九月十六日に第六回目を開催した。二十二社の参加企業・三十五名の参加学生で二十三名の内定者があった。就職の報告があり、本年度も引き続き開催する計画で実行委員会を設置したい。柴田正顧問を委員長として構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされた。

富桜祭物産展実行委員に関する件については田中由雄幹事長から平成二十九年十月二十八日・二十九日の兩日開催される第六十七回富桜祭に於ける校友会主催による地元特産物等販売の物産展を出す目的で実行委員会を設置したい。横山雅人会長を委員長として構成メンバーは別紙委員会名簿としたい旨の提案がなされた。

次にホームカミングデー実行委員に関する件については田中由雄幹事長から国際関係学部校友会に所属する卒業生並びに他学部移行生・編入生の会員を母校三島を訪ねて頂く目的で毎年恒例の富桜祭物産展に参加する卒業生並びに他学部移行生・編入生の会員を母校三島を訪ねて頂く目的とした実行委員会を設置したい。横山雅人会長を委員長として構成メンバーは別紙委員会名簿としたい旨の提案がなされ新規会員の結果三案とも了承された。

田中由雄幹事長から平成二十九年七月七日東京ドームホテルで開催された平成二十九年度日本大学校友会役員総会においての資料として正会員申込用紙を同封してあります。正会員加入により学部への収入増となるので、加入者促進に協力願いたいとの要請がなされた。

各科同窓会活動報告については報告事項なし。山田浩子副会長の閉会のことばで総会は終了した。田中由雄幹事長の司会で進行され、校歌斉唱に始まり横山雅人会長挨拶の後、来賓挨拶として田中英壽理事長・校友会会长及び加藤直人副学長並びに渡邊武一郎国際関係学部長の祝辞があつた。来賓紹介の後、岡本敬史国際関係学部事務局長による乾杯のご発声で懇談に移った。国際関係学部フランダンスサークル「ウエリナ」ハワイアンショールの披露があり、鈴木允常任幹事の指揮のもと応援歌となり、柴田正顧問により一本締めで閉会となつた。

◎銀杏並木歩道清掃作業  
毎月 第四日曜日 午前九時から 約一時間程度  
本校舍西側道路(県道二十二号線歩道)  
集合場所 校舎十三号館二階 講師室  
◎ホームカミングデー開催  
日時 十月二十八日(土)  
十時~十五時  
場所 校舎十五号館一階  
◎富桜祭物産展参加  
日時 十月二十八日(土)~二十九日(日)  
十時~十六時  
場所 校舎十五号館一階  
スタディエリア一部



国際関係学部同窓会

## 同窓会だより 国際関係学部同窓会

平成二十八年十月八日、第三十三

回国際関係学部同窓会総会・懇親会

が国際関係学部三島駅北口校舎にて開催されました。

田中由雄幹事長から平成二十九年七月七日東京ドームホテルで開催された平成二十九年度日本大学校友会役員総会においての資料として正会員申込用紙を同封してあります。正会員加入により学部への収入増となるので、加入者促進に協力願いたいとの要請がなされた。

今年度の同窓会総会・懇親会には約六十名の卒業生来賓の先生方が集いました。

総会では宮下同窓会会長より挨拶があり、その後、事業報告、会計報告と続き、次年度の事業計画が審議されました。

懇親会におきましては渡邊武一郎学部長をはじめ、恩師である先生方と共に会員同士が思い出話に花を咲かせ、一層親睦を深め終始和やかな雰囲気で歓談され、懇親会は閉会となりました。

校友会主催による地元特産物等販売の物産展を出店する目的で実行委員会を設置したい。横山雅人会長を委員長として構成メンバーは別紙委員会名簿としたい旨の提案がなされた。

次にホームカミングデー実行委員会を設置したい件については田中由雄幹事長から国際関係学部校友会に所属する卒業生並びに他学部移行生・編入生の会員を母校三島を訪ねて頂く目的とした実行委員会を設置したい。横山雅人会長を委員長として構成メンバーは別紙委員会名簿としたい旨の提案がなされ新規会員の結果三案とも了承された。

校友の皆様方のご参加をお待ちしております。また、十一月以降の行事内容については国際校友会ホームページに詳細を掲載致しますのでご覧ください。

本部校友会関係行事等については

## 「桜栄会の皆さまへ」



桜栄会会長

野中美香

桜栄会会員の皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

桜栄会も国際関係学部の下部組織として活動するようになり、その活動内容も大きく様変わりいたしております。現在では在学生の為の就職支援として就職合同説明会のお手伝い、学園周辺の清掃活動への参加、ホームカミングデーの推進事業として立ち上げられた富桜祭においての物産展での地元産品の紹介、販売などを行っています。桜栄会としての枠に留まらず学園全体として活動に参加していくことは、私たちの学科を多くの方に認識いただけるよい機会とらえており、また、他学部校友会の方や運営方法なども知ることができるので会の運営に大いに役立っているところでございます。会員の皆さまにおかれましても校友会活動を通じて

多方面で活躍する方々とふれあうことはこれから的人生が豊かになる一助となるかもしれません。是非積極的なご参加をご検討いただけたらと存じます。

学科におきましては今年、四

十年以上に亘り調理実習やフードコーディネイト論などをご担当されていました講師の渡辺洋子先生が退官されました。渡辺先生は講義科目にとらわれず、幅広く人間教育まで踏み込んで御指導下さった素晴らしい先生でした。退官後もお元気に益々御活躍されますことを祈念いたしております。

私は、卒業後家政科食物栄養専攻の実習助手として四年、平成九年から非常勤講師、平成十五年より常勤として合わせて二十四年間の勤務となります。これまでに関わりました多くの皆様方のご支援があり、ここまで勤まることができましたことを心より感謝申し上げます。

長寿国となり、医療費が年々増加している現代において食のあり方が問われております。会員の皆さまにおかれましては、何卒本学科で学んだことを活かされ、これから時を健やかにお過ごしいただけますよう御祈念申し上げます。

## 「食物栄養学科での ファイナーレ」



短期大学部食物栄養学科教授 学科長

神戸絹代

桜栄会の皆様におかれまして

は、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

二年前に、卒業生が始めて学長になりましたことをご報告させていただきましたが、今年六十五歳を向かえ、平成三十年三月三十一日で退職となります。

私は、卒業後家政科食物栄養専攻の実習助手として四年、平成九年から非常勤講師、平成十五年より常勤として合わせて二十四年間の勤務となります。これ

までに関わりました多くの皆様

方のご支援があり、ここまで勤まることができましたことを心より感謝申し上げます。

学科長になつて先ず、最初に直面したことといえば、世代交代で長年食物栄養学科を支えて教鞭をとつていただいた先生方の退職でした。一方で若い先生方の入職で食物栄養学科教員の平均年齢はぐつと若返りました。更に来年は私の退職により一層若返ることでしょう。人生の中で人の出会いと別れは常であり、一喜一憂しながら、時の流れを感じています。

さて、学科長になつて三年目。特に力を入れたのは、学習環境及び教員の研究環境整備でした。多くの大学が近代的な建物で学習環境の素晴らしさを前面に出している中、食物栄養学科が主に使用している9号館及び11号館は、三島キャンパスの中でも古い建物です。入学生のアンケートでも、教室やトイレの改善を望む意見が多く、今年度はトイレの様式化と学生ホールの入れ替えで自習しやすい環境に改善しました。また、実験などで使用する機器類の集約化や共同で使用されていた研究室の分離化などを行いました。

これより先は昨年と同様になりますが、少子高齢化となつている現在、受験生の減少は当学科にも影響が出てきて、二年連続で入学生は定員を満たすことができませんでした。近年では、卒業生のお子様が入学されることで、入学生は定員を満たすこと

ができませんでした。近年では、卒業生のお子様が入学されることもあり、入学生の確保のためには、皆様のお力添えをいただければ、書面をもつてお願い申しあげます。当学科としては、二年制の栄養士養成、専攻科（四年制大学と同等の学位取得可能）、四つの資格サポート（製菓衛生師・フレードスペシャリスト・フレードアナリスト・介護職員初任者研修）を特徴として入試戦略に力を入れています。加えて三島市を始め近隣の市町との地域連携に力をいれ、商品開発・レシピ考案など、学生が習得した知識を自ら活用して、学内の講義や実験・実習とは異なるアクティブラーニングを導入して活動できる機会も作っています。活動内容は食物栄養学科ホームページをご覧ください。

## 「食」について 学ぶということ



短期大学部食物栄養学科助教

中川裕子

校友会会員の皆様はじめまして。

さして、学科長になつて三年目。特に力を入れたのは、学習環境及び教員の研究環境整備でした。多くの大学が近代的な建物で学習環境の素晴らしさを前面に出している中、食物栄養学科が主に使用している9号館及び11号館は、三島キャンパスの中でも古い建物です。入学生のアンケートでも、教室やトイレの改善を望む意見が多く、今年度はトイレの様式化と学生ホールの入れ替えで自習しやすい環境に改善しました。また、実験などで使用する機器類の集約化や共同で使用されていた研究室の分離化などを行いました。

これより先は昨年と同様になりますが、少子高齢化となつている現在、受験生の減少は当学科にも影響が出てきて、二年連続で入学生は定員を満たすこと

郷で学生の教育に携わることを大変光榮に感じております。

本学科では主に、調理学、調理科学、調理学応用実習を担当しておりますが、二年目と教鞭歴が浅く、教育の方法について日々摸索中です。また、授業に対する学生の積極性が年々低下しているのではないかという不安を感じております。

とは言え、私自信の学生時代が勉強熱心であつたかというとそういうわけでもなく、管理栄養士専攻への進学は何か資格を取りたいという理由で決めました。栄養士の仕事への意欲もなく、授業に出席はするが、何も考えずに過ごすことも多い学生時代でした。そんな気持ちが変わったのは、卒業後に参加した講演会で聴いた言葉、「私たちの体は、私たちが食べるものでできている、これまで食べてきただけが今私たちのからだを作っている」。今考えると月並みの言葉ですが、この瞬間に栄養を学ぶことは生きていく上でとても大切なことだと心に響き、栄養士・管理栄養士という仕事の責任の重みを感じました。また、資格のためだけでなく、自分の身体にとって、そして家族の健康を支えることにも直結することであるならば、より深く学びたいと感じたのです。

る、ということが誰にでも起こります。少し、私の研究を紹介させていただきます。近年、我が国は寿命の長さは世界でもトップレベルとなり、健康寿命という指標についても着目されるようになりました。

「食」は少なからず影響する要因で、口から食べることが、健康寿命を延ばすことにつながると言われています。私は食品の物性について測定を行い、物性をコントロールすることで、噛むことや飲み込むことが困難となった人に対しても、食べやすく、安心して飲み込む食形態はどうのようなものであるかと研究しています。この分野は食品企業の開発が進み、市販介護食品の発達が急速に進んでいますが、一方で、栄養士や調理師など食に関わる人々に求められる調理の知識や技術を身につけることが今後これまで以上に求められていくのではないかと思っています。

## 「ご挨拶」



### 短期大学部食物栄養学科助教 安西 なつめ

ん、食と栄養は生きる上で不可欠なものであり、個人の生活だけでなく社会の様々な活動にも密接に関係しています。そのため、年齢や性別、ライフスタイルの別に関わらず、私たちの誰もがそれぞれ向き合わざるを得ない身近な問題です。

加えて、食物栄養は、近年ますます関心が高まっている医療、看護、介護の分野に密接に関係する分野です。たとえば、本学科では指定の授業と実習を履修することで栄養士の資格を取得できますが、その実習先には病院や高齢者施設が含まれています。ゼミでは、三島市キヤンパスに足を踏み入れ、今年が二年目となります。専門は解剖学および解剖の歴史（医史学）で、長年教鞭をとられました室伏誠先生の後任として赴任いたしました。授業は、一年生で「解剖学」と「化學」を、二年生で「解剖生理学実験」を、専攻科一年生で「解剖生理学特別実験」を担当しております。

昨年、ここ三島の食物栄養学科に参りました。まず気づかされましたのは、食物栄養という分野的重要性、そして奥深さです。これまでたくしは健康について、解剖学という観点から、人体の構造や機能を通して考える機会が多かつたよう

をもつと知つてもらいたいと考えるようになりました。その思いから、最近では高校生に向けた学科の新しいパンフレット作成にも携わらせ頂きました。作成したパンフレットを持参して近隣の高校を訪問する中でも、高校生に向けて、食や健康に関する仕事の一つとして栄養士を紹介する意義を実感しております。

今後はこうした私自身の気づきや発見を学生と共にできるよう、まずは担当しております解剖学および解剖生理学実験などを通して、学生一人一人の、人体に関する基礎的な知識の獲得を目指して参ります。至らぬ点もございますが、長くご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「食物栄養学科と 専攻科での日々」



專攻科 · 十四期

滿間惠子

私が食物栄養学科に入学を決めたきっかけは、母からの「栄養士はどう?」という一言からでした。栄養士になるには、自分の食べたものが体の中でどう吸収されて、どう作用するのか勉強していくことだと考え、漠然と面白そうだと思い、受験を決めました。

入学してから夏休みに入るまでは毎日の授業に加え、週に二日、夕方まである実験と実習、そしてそのレポート提出など、毎日をこなしていくだけで精一杯でした。普段の授業も今までの五十分から九十分になつたことで、内容の濃い授業で、専門用語も多く、栄養士になるための分野は広いのだと驚いたことを今でも覚えてています。

大学に慣れ始めてからは自分の時間もできて、短大二年生になつた時にはゼミにも入り、充実した毎日を送っていました。

専攻科への進学は、食物栄養学科入学時から決めていました。

四年制学位の取得と管理栄養士資格受験の勉強のためです。専攻科では授業内容はより専門的になりましたが、時間的余裕は増えました。ゼミでは学位取得に向けて論文作成が本格化し、就職活動のためのマナー講座や講演を聞くことで、仕事の選択肢が広がりました。専攻科二年生になると、論文作成や論文発表、学位取得試験と最終学年なのだと感じることが多くありました。大変だと思いながらも、同じ目標を持つ友達がいることで、共感して、励まし合いながら、乗り越えることができました。

今現在は、まだ取得していない管理栄養士資格の取得を目指し、臨時職員として市役所で働きながら勉強をしています。管理栄養士は、取得することで仕事の選択肢の幅が広がるので、必ず取得しようと思っています。四年間の大学生活は大変だなと思うこともありましたが、同じくらい短大・専攻科と楽しいこともあります。そして、この先も長く続くであろう友人関係を築くこともできました。今では、あの時は大変だつたけれど頑張つてよかったです。と思うことがあります。ですので、在校生の皆さんも今を楽しみな

「食物栄養学科と私」



專攻科 · 十四期

藤原

私は、平成二十二年に食物栄養学科に入学し、専攻科に進学しました。その後、女子栄養大学大学院に入学・卒業を経て、平成二十九年度から母校である食物栄養学科の助手として働かせていただいています。

現在の食物栄養学科は、私が在学していた時よりも学生の人数が少なく、卒業生として寂しく感じています。本校だけではなく、我が国では年々大学、短期大学の進学者が減少しているのが現状です。だからこそ、学生には「日本大学食物栄養学科に入学してよかつた。」と思えるような学生生活を送つて欲しいと考えます。私も、この食物栄養学科に入学し、「栄養学」に出会え、学べたことが自身の糧となっています。

私が食物栄養学科に入学したきっかけは、幼い頃から継続していた陸上競技（長距離走）でした。大学では栄養学を学び、自身の競技に活かしたいと考え、食物栄養学科に入学し、日本大学女子駅伝部に入部しました。入学当初は、減量をむやみに行い疲労骨折や月経不順となり、体重の増減に苦しみました。しかし、現在学科長である神戸緑代先生から食事指導を受け、スポーツ栄養について正しい知識を得るようになりました。私のように若年期の減量（ダイエット）は身体に負担をかけ、やり方によつては危険な行為であると身に染みて感じました。

専攻科では、自身の経験から「女性の痩身願望とボディーアイメージの関係」について研究しました。指導教官である葛城裕美先生には、論文の書き方の基礎を教えていただきました。葛

食物栄養学科に入学し、日本大学女子駅伝部に入部しました。入学当初は、減量をむやみに行い疲労骨折や月経不順となり、体重の増減に苦しみました。しかし、現在学科長である神戸緑代先生から食事指導を受け、スポーツ栄養について正しい知識を得るようになりました。私のように若年期の減量（ダイエット）は身体に負担をかけ、やり方によつては危険な行為であると身に染みて感じました。

城先生は、私が書いた論文に対してどんなに小さなことでも褒めてくださいました。「研究するのって楽しい！」と思うようになります。専攻科の卒業研究が大学院に進学するきっかけとなりました。そして、大学院では、思春期を対象に「骨代謝、アディポサイトカインに栄養素が及ぼす影響」について研究しました。「思春期の骨代謝と栄養素の関係」については、まだまだ新しい分野であるため、今後もさらに研究を続けたいと思います。また、大学院の研究室ではスポーツ選手の栄養サポートや、中高生を対象とした食育等、様々な経験をさせていただきました。研究や学んできたことを実践することで、改めて栄養学は幅の広い学問だと気づかされました。「食べること」は生きるために不可欠であり身近なことです。だがこそ、栄養士・管理栄養士の意義はとても大きいと考えます。そのため、学生には正しい知識を身につけ、栄養士・管理栄養士として活躍してほしいと思います。

そして、私はこれまで、食物栄養学科の先生をはじめ、たくさんの方から支えられ、助けられ、学ばせていただきました。私も助手として、学生が食物栄養学科で自分の可能性を広げ、それぞれの目標を達成できるような環境作りに努め、さらに私自身も研鑽を積んでいこうと思います。

## 桜栄会の皆様へ

桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻の教育活動にご理解とご協力を賜わりまして心から感謝しております。

さて、今日少子化が進む中、大学への進学希望者は年々減少し、特に短期大学への進学者数は目の見えて減ってきております。本学科でも、大変厳しい状況が続いております。幸いにも本学科におきましては、現在に専攻科を開設し教育的には四年制大学と同等の教育や学士（栄養学）の取得、さらに大学院への進学も可能となり、教育水準も維持しています。歴史と伝統を有する本学科の維持・発展を期して、日々の教育・指導に一層努めていますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。なお、お知り合いの栄養士資格の取得を希望される受験生や社会人の受験をご案内いただければ幸いです。また、管理栄養士を目指す学生の専攻科進学を進めておりますが、近年では社会人になられた卒業生も、さらに専門的知識や技術を習得し、管理栄養士を目指して入学されています。平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策室を立ち上げ、サポート体制を整備し合格者を増やしています。なお、下記製菓参加者登録

## 管理栄養士国家試験対策室 からのお知らせ

登録者のニーズを集約し、担当教員は講座内容・日程の計画や調整を行う

## 《介護職員初任者研修》

今年から管理栄養士国家試験対策講座は、毎月第三日曜日の十時から十五時まで十一号館一館で定期開催しています。内容は、受験生が最も苦手とする「人体と構造」【基礎栄養学】【臨床栄養学】の三分野を統合した学習形式ですすめています。試験では応用問題が二十問に増え、また設問も二つ回答の選択問題や「適切なものを選べ」などの表現があり、單なる暗記で解くことが難しい傾向になっています。そこで講座の方は、過去十年間の出題問題を総ざらいにして問題を解き、確実に理解してもらうことを目的にしています。さらに、本番の試験までに模試を数回受けてもらい、習熟度を確認し個別に対策のアドバイスを行っています。

登録者は年間計画に沿って学習担当教員は実施状況を把握し、支援個別面談またはメール（受験までの個別年間計画作成）

## 《製菓衛生師（国家試験受験資格）》 学科で卒業生も取得できる資格

昨年十一月より今年度の講座は開始しているため、すでに説明の終わった部分もありますが、追い込みをがんばろうと思っている方はぜひ講座に参加してください。参加をご希望の方は、食物栄養学科研究室へご連絡ください。

平成十六年度から、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、茨城県にある「つくば栄養調理製菓専門学校」との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中でも人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（一日）で効果的に修得できます。毎年四月から開講です。

介護職員初任者研修は、旧ホームヘルパー2級、訪問介護員とも呼ばれ、高齢者や心身障害者などの身体の介護や家事サービスを提供し、自宅での自立を支援します。厚生労働者が指定する講座を修了することで修得でき、高齢化社会を迎えることでのニーズの高い資格です。本講座はニチイ学館と連携した本学科単独の通信講座で、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻を対象にカリキュラムを編成し、開講します。

## 「フードアナリスト」四級・三級

お問い合わせは、食物栄養学科研究室  
TEL：〇五五一九八〇一〇八四〇  
FAX：〇五五一九八〇一〇八四六  
E-mail:kanbe.kinuyo@nihon-u.ac.jp

# 日本大学国際関係学部校友会会則

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

### (事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

### (事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

## 第3章 会 員

### (会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功労があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

### (会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徵収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徵収しないものとする。

## 第4章 役 員

### (役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名  
副 会 長 若干名  
幹 事 長 1名  
常 任 幹 事 若干名  
幹 事 若干名  
会 計 監 査 2名

### (顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

### (役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

### (任 期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

### (役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
  - 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
  - 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
  - 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
  - 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。
- なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

## 第5章 会 議

### (会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

### (会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

### (総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

## 第6章 支 部

### (支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

## 第7章 会 計

### (会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

### (会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

## 第8章 会 則

### (会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

### (会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

### (施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

## 第9条 表 彰

### (表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

## 第10章 除 名

### (会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

# 日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)  
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)  
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)  
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・  
東京都第六・東京都第七)  
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)  
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)  
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)  
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)  
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)  
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会(80団体)

海外特別支部(8支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

# 日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会  
(旧三島同窓会)

三島豫科  
三島教養部  
文理学部(三島)

短期大学部  
桜文会(国文・英文)  
商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養)  
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活・専攻科)  
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会